質疑応答一覧

番号	カテゴリ	質問	回答
1	1.事業化の経緯	せんげん台駅東口から整備する理由は何ですか？	埼玉県の新方川における河川改修工事が東武鉄道の下流部まで終わったため、新方川第6-4ポンプゲートが新設されました。それに伴い、雨水貯留施設の整備を実施することで、せんげん台駅東口の浸水対策が最大限効果を発揮できることから、東口から検討を行いました。
2	1.事業化の経緯	せんげん台駅西口側の整備予定はありますか？	西口側の整備についても、埼玉県の新方川における河川改修工事の状況に合わせて、ポンプ増強または雨水貯留施設整備について、浸水対策に最も効果的な手法を検討・選定していく予定です。
3	2.現在の内水対策	従来の浸水対策との違いは？	従来は仮設ポンプで内水排除を実施しておりましたが、令和7年3月に新方川第6-4ポンプゲートが新設され、排水する量が大きくなりました。それに併せて、雨水貯留施設を整備することで、せんげん台駅東口の浸水を概ね解消するというシミュレーション結果を得たため、雨水貯留施設整備を計画しました。
4	2.現在の内水対策	新方川第6-4排水区の吐口の吐出量は埼玉県と協議していると思うが、新設されたポンプゲートは放流量を超えて排水をするのか？	新方川の河川改修工事の完了に伴い、協議済みの放流量から増加が認められ、令和7年3月に新方川第6-4ポンプゲートを設置しました。しかし放流量協議で定められた以上の水は排水できないため、排水できない分については、雨水貯留施設に貯留いたします。
5	2.現在の内水対策	新たにポンプゲートが整備されたとのことだが、排水量が増えたことにより、新方川が氾濫することはないのか？	埼玉県の新方川における河川改修工事が東武鉄道の下流部まで終わったため、放流量の増加が埼玉県より認められ、ポンプゲートを設置しました。そのため、ポンプゲート新設に伴う氾濫の危険性はないと考えております。
6	2.現在の内水対策	過去、メディアにも取り上げられたような、せんげん台駅周辺の浸水被害が大きかった原因は何が考えられますか？	一因としては、局所的に短時間で大量の雨が降ったことが考えられます。通常の雨であれば、整備した雨水管で十分に水がはける計画で整備したものですが、短時間で大量に雨が降ることで、雨水管に雨水が入る前に、地表面に溢れて浸水被害が発生したと想定されます。平成27年の大雨についても、市内に点在する雨量計のデータから、市内北部の雨量が特に大きかったことが確認されております。
7	2.現在の内水対策	新方川の河道掘削の予定はあるか？	新方川は埼玉県の管理であるため、市では把握しておりません。

質疑応答一覧

番号	カテゴリ	質問	回答
8	3.シミュレーション・検討結果	平成27年9月の台風第18号の雨でも浸水被害が抑えられるという結果であったが、それ以上の雨だと、どれくらいまで対応できるのでしょうか？	雨の降り方によって大きく変わるため、一概にどれくらいまで対応できるという詳細は申し上げられません。
9	3.シミュレーション・検討結果	どの程度の大雨に対応可能だと想定しているか？	雨量だけでなく、どのような雨の降り方になるのか等をシミュレーションで作り込む必要があり、検討項目が多岐にわたるため、想定のシミュレーションはない状況でございます。
10	3.シミュレーション・検討結果	千間台第一公園の付近も冠水するが、雨水貯留施設が整備されれば浸水は解消するのか？	雨水貯留施設の整備と、新方川第6-4ポンプゲートの整備により、千間台第一公園周辺の浸水被害について概ね解消するというシミュレーションの結果を得ています。
11	3.シミュレーション・検討結果	シミュレーションの結果で、千間台第一公園の東側に水が残るという結果となっているが、これはどうなるのか？	地盤高の観点から、シミュレーション上では完全に解消はしない結果となっております。雨水貯留施設の整備後に、効果検証を実施し、状況によっては道路部門と調整して対策を考えていきたいと思います。
12	3.シミュレーション・検討結果	駅前の道路を1m嵩上げした際の費用との比較検討は実施したか？	道路や土地を嵩上げした際の費用は算定しておりません。仮に嵩上げを実施するとなると、せんげん台駅東口の全ての土地を嵩上げする必要があります。その場合、金額が莫大になることが想定されるため、実施しておりません。
13	3.シミュレーション・検討結果	今回整備する雨水貯留施設に入る水の範囲を示してほしいです。	新方川第6-4排水区の全域になります。 （※南北は千間台南陸橋～新方川、東西は国道４号線～千間台駅東口）
14	4.雨水貯留施設整備	工事に係る費用はどれくらいですか？	4ヵ年の工事で約24億円を予定しております。
15	4.雨水貯留施設整備	入札が令和8年度であるが、近年の物価高の影響で見込んでいる費用より高くなる傾向があると思うが、バッファがあったりするのか？	現段階での設計額を積み上げて発注を予定しております。先の話になるので仮にはなりますが、契約後の物価上昇や資材高騰が起こった際には、施工業者と協議をし、スライドの手続きを活用等を検討してまいりたいと考えております。
16	4.雨水貯留施設整備	シールドマシンの選定種類と選定理由は	泥土圧式のシールドマシンを予定しております。泥土圧式と泥水圧式の比較を行ったところ、泥水圧式では水の処理施設が現地に必要となり、防音ハウスや作業ヤードが大きくなってしまうため、作業ヤードが小さく安価な点から選定しております。

質疑応答一覧

番号	カテゴリ	質問	回答
17	4.雨水貯留施設整備	シールドマシンの重量はどれくらいあるのか	中型のシールドマシンを想定しており、一般的に300～500tとされています。
18	4.雨水貯留施設整備	東武鉄道への影響はないのか	東武鉄道に関しましては、事前協議を行わせていただき、今回の工事では影響はないと回答をいただいております。
19	4.雨水貯留施設整備	ボーリング調査は何か所実施したのか	今年度のボーリング調査は、1か所実施しました。土木学会が発行しているトンネル標準仕様書によると、一般的に200mに1箇所程度とされることから、ロータリー付近で1箇所実施しております。また、セブンタウン周辺で過去に1箇所のボーリング調査結果があったため、比較し、土質に大きな乖離があるようであれば追加で調査を実施予定でありましたが、今年度のボーリング調査の結果、土質があまり変わらないという結果から、1箇所の調査としました。
20	4.雨水貯留施設整備	一軸圧縮試験の強度はいくつか？	今年度実施したボーリング調査の土質の結果が、粘土、シルトであったため、一軸圧縮試験は実施せず、三軸圧縮試験を実施しました。
21	4.雨水貯留施設整備	施工ヤードへの資材搬入などは日中か夜間か、どちらで実施するのか？	施工ヤードがロータリーを予定しており、バスやタクシーが多く走っているため、大型車等で資材搬入する場合には夜間を想定しております。しかし、施工業者と調整となるため、夜間であると明言は出来ませんが、安全面に配慮して対応していきたいと考えております。
22	4.雨水貯留施設整備	騒音対策は？	騒音対策として、防音ハウスを予定しております。
23	4.雨水貯留施設整備	容量が4,000㎥だと直ぐにいっぱいになってしまって効果が発現しないのでは？	降った雨水がすぐに雨水貯留施設に溜まるわけではありません。第一に雨水管を通じて自然流下で河川へ排水、第二に河川水位が高くなりゲートを閉じた際にはポンプで河川へ排水、第三に雨水管内の水位が一定以上の高さになった際に、越流堰より水が越流し、雨水貯留施設に雨水が入る設計です。そのため、効果的な浸水対策が可能であると考えております。
24	4.雨水貯留施設整備	雨水貯留施設に溜まった水はどのように処理するのでしょうか？	貯留した水については、新方川及び雨水管内の水位が落ち着いたタイミングで、雨水貯留施設内の排水ポンプを稼働させ、水が入る越流堰から雨水管に水を戻す形を予定しております。雨水管に戻った水は、その後、自然流下にて新方川へ放流されます。

質疑応答一覧

番号	カテゴリ	質問	回答
25	4.雨水貯留施設整備	工事が進むタイミングでの規制や工事の進捗状況で、人や車の流れがどうなるか？	現在の予定では、ロータリーの3車線のうち1車線が施工ヤード範囲にかかると想定しているため、少なからず影響は発生すると考えております。工事に伴う規制や進捗状況については、ホームページなどで随時状況を広く発信させていただきたいと考えております。
26	4.雨水貯留施設整備	陥没や地盤沈下などの影響が発生した際にしっかり保証してもらえるのか？	陥没事故が発生しないよう、最新の注意を払って工事を進めるとともに、工事に伴う影響については、事前・事後の物件影響調査で確認させていただきたいと考えております。
27	4.雨水貯留施設整備	八潮のような陥没事故は起きないか心配している。	八潮市での陥没は、汚水管が硫化水素により腐食が原因と考えられております。今回整備する雨水貯留施設は、出水時に雨水を貯留する施設であり、基本的には水が入っていない状態のため、汚水管のような腐食のリスクは低いと考えております。
28	4.雨水貯留施設整備	施工期間中の質問や周知はどうするのか？	説明会後も質問を受付け回答いたします。また、工事進捗等の周知については、HPを活用し広く周知していきたいと考えております。
29	5.今後のスケジュール	建物影響調査の範囲について、仮となっているが、今後広がることはあるのか？	現在、実施設計を実施中であり、その検討結果や工事の範囲を鑑みて調査範囲を設定させていただきたいと考えております。
30	5.今後のスケジュール	物件影響調査は、施工前と竣工後に実施するとありましたが、竣工後も何年か後に改めて影響調査を実施するのかを知りたい。	物件影響調査について、事後調査は竣工後に1度実施する予定であり、数年後に再度事後調査を行う予定はございません。
31	5.今後のスケジュール	人工物を埋設するということですが、何年くらいもつものなのでしょうか？	コンクリート管の耐用年数は、基本的に50年とされております。越谷市としては、施設を長く使えるようにストックマネジメント計画を策定しており、コンクリート管の目標の耐用年数は75年としております。
32	5.今後のスケジュール	どれくらいのメンテナンス頻度が必要となってくるのでしょうか？	台風などの大きな出水があった際に雨水貯留施設が稼働する想定でありますが、稼働の頻度に応じて、清掃などの維持管理を実施し、雨水貯留施設が稼働しない年があったとしても1年に1度の点検は実施したいと考えております。
33	5.今後のスケジュール	発進立坑の地上部は、完成後にその部分だけ地盤が高くなることはありますか？	高くなることはありません。発進立坑の地上部には、雨水貯留施設に入るための点検口等を設ける予定です。

質疑応答一覧

番号	カテゴリ	質問	回答
34	5.今後のスケジュール	施工後の駅前広場は今と全く同じになりますか？	道路部門の方で雨水貯留施設の整備に合わせて、詳細設計を発注し、住民の皆さまのご意見もいただきながら駅前広場を新しく整備していく予定と聞いております。
35	6.その他	汚水管と雨水管の違いと位置関係について教えてください。	越谷市は分流式で下水道を整備しており、生活排水を流す汚水管と、雨水を流す雨水管が地中に整備しております。生活排水は、汚水管を通じて、三郷市にある中川下水処理場まで流しております。一方、雨水は道路側溝から雨水管に雨水が入り、基本は自然流下で河川へと放流されます。位置関係としては、それぞれが道路下の1～2mに敷設されている場合が多く、場所によっては、深いところで5m下に敷設されております。
36	6.その他	今回整備する雨水貯留施設は大雨に対応するための施設かと思いますが、逆に渇水などで水が足りなくなったときに、水をためておくなどの活用予定はありますか？	現時点では、浸水解消を目指した雨水貯留施設であるため、そのような活用予定はございません。
37	6.その他	道路側溝の清掃を実施したい場合、自治会単位で申請すれば、道具の貸し出しはあるのか？	越谷市として道具の貸し出しは実施しておりません。土を処分するための袋を提供し、回収は市が実施している実績はございます。
38	6.その他	ロータリー付近にて悪臭がする	汚水管の状況について確認します。